

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3805	領域略称名	ネオウイルス学
研究領域名	ネオウイルス学：生命源流から超個体、そしてエコ・スフィアへ		
領域代表者名 (所属等)	河岡 義裕 東京大学・医科学研究所・教授		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、ウイルスが宿主生物の進化、生命活動、生態系に及ぼす影響を多面的に解明することで、従来は病原体学として扱われてきたウイルス学を「ウイルス生態システム制御学」という新たな学問領域として発展させることを目指した。「共進化」「共生」「多様性」という3つの研究項目を設定し、各計画研究が連携して先駆的な研究を推進した。内在性ウイルス配列の網羅的検索、宿主の疾患を抑制する感染享受、多くの海洋性ウイルスの発見などの成果は、多数の注目すべき論文発表に結びついており、学術的成果は十分な評価に値する。また、若手研究者の参画や支援活動によって、多くの国際的な若手人材が育成されたことは、今後の継続的な発展の点から高く評価される。

今後は、本研究領域において得られた多様な環境や生物に由来するウイルスに関する優れた研究成果を基盤として、ウイルス生態システムの全体像の理解や統合的な概念の確立が望まれる。本研究領域によって、ウイルスの進化・生態を俯瞰する研究に対して有望な道筋がつけられたことは高く評価され、研究の一層の発展を期待したい。

新型コロナウイルス感染症による社会のあり方の大きな変容に伴い、医学や治療にとどまらない学術的なウイルスへの社会的な関心が飛躍的に高まった。本研究領域の成果及び今後の継続的な発展が社会的要請に更に応えていくことを期待する。